

会 議 録

会 議 の 名 称		第2回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会
開 催 日 時		令和3年12月22日(水) 午後2時から3時55分まで
開 催 場 所		川島町役場2階 大会議室
議 題		建設候補地の選定手順(案)について 評価項目及び評価基準(案)について
公開・非公開の別		非公開
出席者	委 員	荒井喜久雄、川寄幹生、後藤真太郎、鈴木貞美、木村敏光、 田中雄輝、増村順子、矢田堀実香、小高春雄、石島一久
	事務局職員	町民生活課 横山雅則、渡辺英夫、井上靖夫、北原崇行 パシフィックコンサルタンツ株式会社 米田理津子、宇田川学、櫻井恭介
配 布 資 料		第2回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会会議次第 第1回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会会議録 川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会 第2回委員会 資料 評価項目及び評価基準(事務局案)
<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 委員長より第2回検討委員会開催に当たっての挨拶をいただいた。</p> <p>3. 報告事項 (1) 情報公開について 事務局内で整理した結果を報告した。 ① 会議録は要点録とし、質疑・意見の内容を建設候補地選定に支障が生じない範囲で明らかにする。会議録は作成後、会議録署名人の署名を受けたのち、すべての検討委員会を終了したのちに、川島町ホームページで公表する。検討委員会資料及び検討委員会報告書の取扱いも同様とする。 ② パブリックコメントについては、選定結果報告に対する実施例が他団体ではほとんどなかったこと、今回の委員会の全体スケジュールから実施が困難であることから、実施しない。</p> <p>4. 議事 議事に先立ち、第2回検討委員会の署名人を委員長より指名した。 (1) 建設候補地の加除について 事前に委員から候補地の追加について申し出があり、事務局からその位置について説明した。追加に対する反対意見がないことから、建設候補地として「南園部」を追加することとした。</p>		

(2) 評価項目及び評価基準について

事務局案のとおりとした。建設候補地の評価に当たっては、以下の質疑・意見を踏まえることとした。

※ 以下の質疑・意見等において、太字・下線を付した箇所は、委員から事務局に対する要望事項であることを示す。

<質疑・意見等>

a. 「安定したごみ処理の確保」に係る評価項目及び評価基準について

- ・活断層は川島町内にあるのか。(委員)
⇒ 知られている起震断層は川島町内にはない。(事務局)
- ・想定震度について、川島町内で違いがあるのか。(委員)
⇒ 町の東側が高い傾向にある。(事務局)
- ・想定浸水深の評価基準に「×」があるが、これは候補地から外れることを意味するのか。(委員)
⇒ 建物でいうと4階くらいまで水に浸かるので、不適格と考えている。また、1,000年確率降雨を前提とした想定最大規模だと町内ほとんどの場所が不適格となるので、今回は200年確率降雨を前提とした計画規模の浸水想定で評価を行う予定である。(事務局)
⇒ 浸水想定区域は一般に公開されているので、対象とした確率降雨を明記する必要がある。(委員)
- ・川島町は浸水深が深いが、盛土を前提とした評価か。(委員)
⇒ 水害対策の実施可能性として、当該候補地において、盛土による嵩上げ、建屋構造による対応等が採り得るかどうかを評価する。また、地域の活性化に係る評価項目として、嵩上げ後にどのくらい面積を確保できるのかを評価の観点に取り込んでいる。嵩上げによる造成費にも影響が生じるので、そこでも評価する。(事務局)
⇒ 嵩上げして設置する方向なのか。(委員)
⇒ 国としては施設の強靱化を掲げており、嵩上げはその選択肢の一つという位置づけである。(委員)
⇒ 嵩上げをするというなら、しっかりとしたビジョンが必要である。その点も十分に考慮いただきたい。(委員)
- ・周りの住宅地がみな浸水して、建設候補地だけ残るのは如何か。(建設候補地だけでなく、その周りの地域も)すべて嵩上げしろという議論にならないか。水害に関する項目が多いことが気になる。(委員)
⇒ 他都市では、想定最大規模を前提に考えたら、堤防よりも造成高が高くなってしまったという話もある。他方、防災拠点の観点もある。バランスは考えなければならない。(委員)
- ・災害時における事業の継続性として、他市町村での事例はあるか。(委員)
⇒ 重要な設備を2階以上に据え付けたり、搬入車両をランプウェイを使って2階から出入りさせる事例は多い。(委員)

b. 「環境への配慮」に係る評価項目及び評価基準について

- ・施設からの距離とは、どこからの距離か。(委員)
⇒ 現時点では、敷地境界からの離隔を考えている。(事務局)
- ・不法投棄に関する情報はどのように調べるのか。(委員)
⇒ 県・町の環境関係の担当部署に情報の提供をお願いする。(事務局)
- ・現状、土壤汚染対策法の規制を受けている土地はあるのか。(委員)
⇒ 次回検討委員会にて回答する。(事務局)
- ・眺望景観を評価するとあるが、嵩上げしたら、どこでも目立つ。(委員)
⇒ 「眺望景観に影響を与える」くらいの書きぶりの方がよい。(委員)

- ・子供たちがカブトムシを採りに行っていた場所が、水害対策工事でなくなったりしている。そういうことも評価できないだろうか。例えばメダカが取れる場所など。（委員）
- ・いま住んでいる近くで、道路改良により大型トラックが増えた区間がある。通学路への影響は避けていただきたい。（委員）

c. 「経済性の確保」に係る評価項目及び評価基準について

- ・川島町内に下水道計画区域や都市ガスの供給範囲はあるのか。（委員）
⇒ 町内の一部に下水道計画区域及び武州ガスによる供給区域が設定されている。（事務局）
- ・候補地はいずれも水田なので、ガス、給水、排水等の項目を評価する意味があるのか。（委員）
⇒ それらの本管が近くまで来ていれば、遠くから引いてくるよりも整備は安価になる。なお、評価項目はすべて重みがイコールではなく、例えば補助燃料であるガスは灯油で代替できるので、評価の重みを軽くすることが考えられる。（事務局）
- ・建設費を増加させる要因をすべて評価できるか疑問である。（委員）
- ・建築物の費用の増加要因とは、何を想定しているのか。（委員）
⇒ 基礎杭を打つ想定でいるので、支持層が得られる深度が深いと余計な費用が掛かることなどを考えている。（事務局）
⇒ 要因の有無だけでなく、できれば試算値がほしい。（委員）
⇒ 変わるのは基礎工事で、上物（躯体）はどの地点も同じという想定でよいのではないか。（委員）
- ・維持管理費を増加させる要因とは何か。（委員）
⇒ その用地を確保するために整備したものに余計な費用がかかるものを想定している。例えば長大な道路や法面を造ったのでそのメンテナンスに費用がかかる等。（事務局）
- ・用地取得費とは何か。（委員）
⇒ 公的な土地評価額（公示地価、固定資産税路線価、相続税路線価）による算出を考えている。（事務局）
⇒ 妥当性のある指標を使っていたきたい。（委員）
⇒ 土地柄を考慮しての評価が必要ではないか。（委員）

d. 「地域の活性化」に係る評価項目及び評価基準について

- ・余熱利用で紹介があった事例では、実際には温水が入ってきていないものがある。後から温熱供給を入れようとする、費用がかかる。実現可能性を評価するのが難しい。（委員）
⇒ 他市町では、いろんなことをやっている。農業施設への温熱供給、漁協の養殖施設への温水供給、廃熱を利用としてのLNG燃料の気体化等。それぞれ実現までの道のりには険しいものがあるが、こういう評価があるのはよいのではないか。（委員）

e. 「その他」に係る評価項目及び評価基準について

- ・地権者数となると、各地点数字がばらつくのではないか。（委員）
⇒ 各候補地とも5～6haの敷地を仮定して地権者数を調べる。（事務局）
⇒ 一筆ずつ調べるのか。（委員）
⇒ 法務局から登記簿のデータを取り寄せる予定である。（事務局）
- ・所有者不明土地はあるのか。（委員）
⇒ 川島町の場合、水田なので、所有者不明土地は少ないと予想している。他市町村では、不明土地があり、相続人を探索したこともある。（事務局）
- ・他市町村との距離は近い場合がよいこともある。（委員）
⇒ ここでは、地元同意を得て、協定締結の手間暇がかかることを想定している。当然、

共同処理ということであれば、近いに越したことはない。(事務局)

f. その他評価方法等について

- ・評価項目とした事象が川島町内にあるのか予めわかっていた方が評価しやすい。(委員)
- ・前回、上位3か所を選ぶという話があったが、それぞれの大項目ごとに上位3か所を選ぶのか、それとも全体で3か所選ぶのか。点数を付ける方が参考にしやすい。(委員)
⇒ 例えば、評価基準の◎○△に5点3点1点を与えて、合計点で評価する方向で考えている。評価項目間に重みの違いがあるので、何を重要視すべきかは、次回の検討委員会でご議論いただきたい。(事務局)
- ・環境とのトレードオフに関連し、現段階で、他市町のごみを引き受けることは考慮しているのか。(委員)
⇒ 本来であれば、地元ヒアリングするなどして、意向を確認したいところだが、その時間がない。上位3か所に対して、今後行う説明会等の中で、地元の感触を確かめる必要がある。(事務局)
- ・評価結果については、わかりやすい形で見せていただきたい。(委員)

5. その他

次回第3回検討委員会は2月10日(木)となった。委員会に先立ち、現地視察を行う。

以上

署 名	木村 敏光
	田中 雄輝